

ユスリカ対策としての魚遡上

2011年28号

呑川の「アリゲーターガー」に関連して、今回は阿部洋人くんを追悼する写真レポートを配信しました。

これに対し早速、「おさかなポスト」や多摩川での活動で知られる川崎漁協の山崎さんからご連絡をいただきました。

1週間ほど前に、「呑川」でアリゲーターガーを保護したとのこと。サイズは40cmと小さく、口が曲がっている奇形だったので、おそらく捨てられたものと思われるそうです。

ガーの繁殖は「海老取川」と「多摩川」で確認されています。

「呑川」では調査されていないので不明ですが、今後とも注視が必要とのことでした。

とても重要な報告と、大切なご指摘をいただきました。

さて、最近における呑川の大きな特徴は、カメやコサギや魚たちが中流・下流ばかりだけでなく、この春から最上流にまで見られるようになったことです。



コサギは「工大橋」の流入口まで来るようになりました。



「石川橋」のそばでは、コサギが魚を捕獲していました。

それらの原因として、この夏の「呑川レポート」で、久が原地域で行われている呑川改修工事（現在も進行中）の結果だろうと報告しました。

つまり今回の工事で、「道々橋」下流の「下水道横断堰」が撤去された結果、魚やカメが上流まで遡上できるようになったからと考えたからです。

ただ、私は多くの事象を、本やネットの知識に頼らず、また理屈で追うだけでなく、出来るだけ観察による事実、自分で実際に見た事実で明らかにすることに徹底してきました。

そういう視点で考えるとき、上流まで遡上して来た魚たちは、はたして本当に道々橋を超えて遡上して来た魚なのだろうか、確かめたくくなりました。

それをきちんと「観察」で明らかにすることは、私のこの夏の大きな課題でした。



「道々橋」の上流側に「本村橋」があり、そこに「洗足流れ」が流入しています。「本村橋」の直下の河床は、やや深みのあるプールが形成され、魚たちがいるのが時々見かけられます。



小さいサイズの魚なので見にくいのですが、かなり多くの魚影が確認できますし、ここからさらに上流側に遡上していく様子もハッキリ見られます。ただ、これをもってして、「道々橋」下流の「下水道横断堰」を超えて、魚が遡上して来ていると断言できません。なぜなら、ここには「洗足流れ流入口」があり、ここから魚たちが供給されている可能性もあるからです。

この場所の地理関係をご存じない方のために、地図で見てみましょう。



「本村橋」は、「道々橋」の上流側にあり、ここにいる魚たちは道々橋の下流側から来たか、それとも洗足流れ流入口から入ってきたかは、どちらも考えられます。

「下水道横断堰」が河川工事で今回撤去され、それを越えて魚が遡上して来た証拠を挙げるとすれば、どうしても「洗足流れ流入口」～「道々橋」の間で、魚が来ていることの確認が必要です。

ここは従来、魚影が確認できていなかったからです。

(「道々橋」～「下水道横断堰」の間は、現在工事中で観察不能ですので)



道々橋の下流側は、まだ改修工事の進行中です。

ここを超えて、魚たちはやって来ているのでしょうか・・・



少し前に改修が終わった「道々橋」の上流側です。
ここに魚たちが遡上して来ていないか、その観察が、上流のコサギを見つけて
以来の課題でした。
そして、やっと矢印の先になにやら魚影らしきものを見つけました。



近寄ってみると、かなりの数の魚の群れです。
この魚が何であるか・・・どうしても知りたくなります。



さらに拡大してみると・・・

これではなんとも言えないと言われる方も多いと思いますが、私にはボラのように見えます。

ボラなら明らかに海から遡上して来た魚です。

それが今まで見つけられなかったこの場所に、たくさん来ているのです。

やはり「下水道横断堰」が撤去され、道々橋を超えて、やって来た・・・と言っていていいと思います。

こうして結果的には、最上流にまで魚やカメが見られるようになり、コサギも見かけるようになったのです。

しかし、これで万々歳ではありません。

最上流まで魚が遡上しやすい環境を作り上げるには、「魚たちが休むところ」、「大雨が降ったとき避難できる場所」、「コサギが来たとき逃げ隠れできる場所」・・・そんな環境がたくさん出来る必要があります。

そして魚が最上流まで遡上できれば、呑川にとって「癒やし空間」を作るだけでなく、効果的な「ユスリカ対策」になると思います。

昔、日本では、池などの閉鎖水域に対し、メダカに似ている「カダヤシ」を放って、蚊の発生を抑制してきました。

それが、現在は「生物多様性」の視点から問題になっています。

「呑川」は幸い閉鎖水域でなく、河口から魚たちが遡上できる環境があります。

そうならば、その魚たちを最上流まで遡上させる環境を作り上げ、それが「ユスリカ対策」にも大きな力を発揮することになると思うのです。

いよいよ今週土曜は「妙正寺川ウォーキング」！

みんなで歩こう！ 恒例・秋の都市河川ウォーク

「紅葉の？妙正寺川ウォーキング」

*久しぶりにみんなで歩きましょう・・・こぞってご参加ください。

誰でも参加できます。疲れたら途中で帰る最寄りの駅もあります。

2011年11月12日（土） 10時 西武新宿線・「鷺ノ宮駅」集合

*「鷺ノ宮駅」はJR山手線「高田馬場駅」で、西武新宿線に乗り換え、急行で15分です。

（解散は15時頃。西武新宿線・中井駅 または JR 高田馬場駅）

会費：500円

散策順路：約6キロ

当日の天気により実施が危ぶまれる時は、白石さん（090-6044-7275）まで連絡を

——photo essay by——

高橋 光夫